

みどり香るニュース Vol.2

「第2回気仙沼大島 椿まつり」植樹祭 兼 環境省主催 第7回(平成24年度)「みどり香るまちづくり」企画コンテスト入賞(震災復興特別賞)副賞の苗木と皆様の寄付によるハーブ類植樹祭を行いました!

イベント名：第2回気仙沼大島 椿まつり 植樹祭
第7回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 植樹祭
コンテスト企画名：かおりが結ぶ“椿”交流ガーデン
企画者：気仙沼大島椿まつり実行委員会
NPO 法人 椿の島 21世紀プロジェクト
企画場所：宮城県気仙沼市
植樹日：平成25年4月14日(日)

植樹場所は宮城県気仙沼市の離島大島にある「中山農場 椿の杜公園」内“椿”交流ガーデン。植樹祭は地域の皆様、協力団体、ボランティアの皆様の出席のもと行われました。(写真提供：NPO 法人椿の島 21世紀プロジェクト)



椿まつり開催



植樹祭(小野寺代表挨拶)



ボランティアの皆さん



地元の保育園児も鑑賞中



植樹祭参加者の皆さん

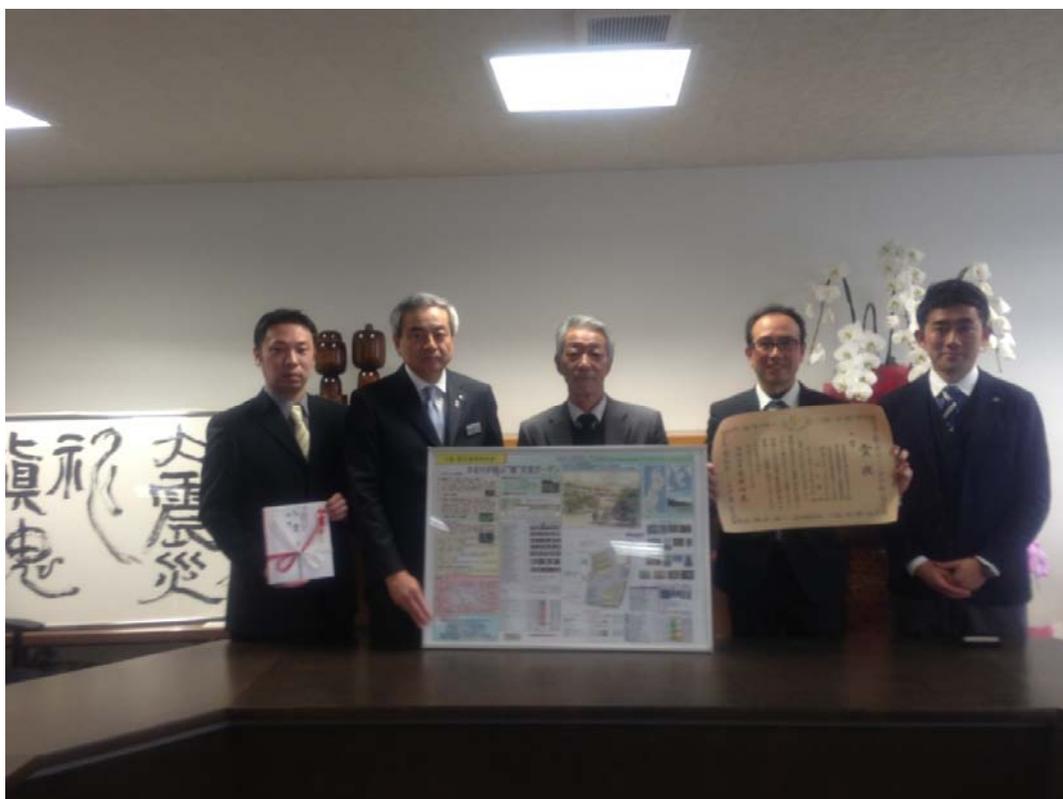


園内の椿

※「椿まつり」とは…？

日本中の皆さんが気仙沼大島に来てくださることで震災復興支援につながっていくことを目指して、平成24年に第1回椿まつりが開催しました。第2回の今年は、平成25年4月13日～4月29日の期間中、“椿”交流ガーデンで開催し、「みどり香るまちづくり」企画コンテストの植樹祭を同時に行いました。

環境省主催 第7回（平成24年度） 「みどり香るまちづくり」企画コンテスト入賞（震災復興特別賞）を気仙沼市市長へ報告（平成25年2月20日）



※写真左から2番目が市長。



コンテスト事務局からの一問一答

Q（事務局）：『かおりが結ぶ“椿”交流ガーデン』とは、どのような企画ですか？

A（NPO 椿の島 21 プロジェクト）：東日本大震災で、大島も津波の被害を受けました。椿の香りをテーマに島を盛り上げれば、島の産業にもつながり震災復興に役立てられるのではないかと思い企画しました。気仙沼大島の中山椿園にある“椿”交流ガーデンに、様々な種類の椿のほかにもラベンダーやミントなどのハーブ類も植え、近隣住民や大島にいらした方が交流を深められる空間作りを目指しました。

Q：植樹をするにあたり、苦労した点は？

A：今回の植樹式には多くのボランティアの方々に来ていただいたのですが、荒れた土地を整備するところから始めたので、そういった方々のお力添えがないと成功しませんでした。

Q：ボランティアとは？

A：震災後、復興支援のために全国からボランティアの方が来て下さいました。今回の植樹式に来ていただいた方も復興ボランティアの一環で来ていただいた方です。関東や名古屋からお越しの方もいました。

Q：植樹式に参加した方の反応は？

A：「これからも力になります」といった声をかけてくださいました。また、立派な椿が咲いて欲しいとみなさんおっしゃっていました。

Q：気仙沼市長に今回の受賞を報告されたそうですが、どのような言葉をかけていただきましたか？

A：気仙沼市長からは、「斬新なアイデアですね」とのお言葉をいただきました。

Q：最後にメッセージなどあればお願いします。

A：今回植樹した苗木はスタッフで管理し、来年きれいな花と素敵な香りをみなさんにお届けできるようにいたします。みなさんが大島に来ていただけるだけで、我々は大変嬉しいです。ぜひ大島までお越し下さい。

（“椿”交流ガーデンへは、JR気仙沼駅から車で『気仙沼港フェリーターミナル』へ行き、フェリーに乗船。『大島汽船ターミナル』から車で10分程度です。）